

令和3年
1月24日執行

菊川市議会議員選挙公報

菊川市選挙管理委員会



あかほり
赤堀ひろし

昭和二十三年一月二日生（七十三歳）

- 一、子育て支援
 - ・保育士確保・待機児童対策
 - ・保育園・認定こども園・小規模保育施設の拡充
 - ・放課後児童クラブ（学童保育）の充実
 - ・母子福祉の充実・貧困対策・子育て環境の充実
- 一、高齢者福祉
 - ・全ての人が、等しくサービスを受けられるシステム
 - ・孤立させない社会づくり
 - ・高齢者の居場所、生き甲斐づくりの推進
 - ・健康寿命の延伸事業
 - ・交通弱者に寄り添った公共交通施策（コミバス）
- 一、農業の現状と課題
 - （担い手不足と進む高齢化、耕作放棄地や鳥獣被害）
 - ・農地集約化・新規就農者の確保、猟友会による駆除
 - ・農業と福祉の連携（障がい者雇用）
- 一、インフラ・治水対策
 - ・大東・吉田線（吉沢地内）歩道整備事業
 - ・吉沢・金谷線（上倉沢地内）道路拡幅事業
 - ・菊川上流部・沢水加川の川底の土砂撤去
- 一、菊川駅北整備構想・JR菊川駅橋上駅舎化
 - 南北自由通路整備
 - ・利便性が高い環境・若者世帯が多く住む地域づくり
 - ・駅近接の交通便利性、朝夕の交通渋滞の緩和
- 一、豊かな自然環境生かした賑わい創出
 - ・和田公園、棚田、火剣山、ホテルの里などでの交流
- 一、浜岡原発の再稼働
 - ・菊川市議会が平成二十七年に出した意見書の堅持

菊川を特色ある楽しい街に！



無所属

石井ゆうた

住所 本所550番地62

「基本方針」

簡潔 明瞭 大胆に

- 子育て ・ 自活できる公園に利用方法改善
- IT事業主 ・ 生活を効率化できるIT化
- 自衛官 ・ ミクロな土砂・治水対策
- ヘルパー ・ 個々の特性にあった生活支援
- 消防団員 ・ 査閲大会・夜警の基準見直し

- ◆年齢32才
家族構成は妻と4才の長女
- ◆台同会社石井商会
代表（テマリ・組込機器開発等）
- ◆NPO法人フリースペース・うえるびー
重度障害者訪問介護補助士
- ◆陸上自衛隊
即応予備自衛官
- ◆消防団
河城分団員

10年先も、20年先も みんなが笑って暮らせる菊川市

皆様の声を反映する
4つの
まちづくり

「活力あるまちづくり」

- 地域産業の活性化
- 働く方たちが安心できる環境整備
- 新型コロナで疲弊した経済の回復

「災害に強いまちづくり」

- 基大化する風水害・大地震への対策
- 自助・共助・公助のさらなる推進
- マイタイムラインの普及促進

「子育てにやさしいまちづくり」

- 子どもを産み育てやすい環境づくり
- ICTを活かした質の高い教育の推進
- 持続可能な社会の実現

「笑顔あふれるまちづくり」

- 安全、安心して暮らせる社会
- 地域包括ケアシステムの推進
- ささえあい、協力しあえる地域社会

責任世代 未来のために！



無所属

にしした
西下あつき

45歳

対話と共創～人と人を繋ぐまちづくり～

市民のみなさまが、将来にわたって、安心して楽しく暮らすことができ、人が訪れるまち、住みよさナンバーワンのまち菊川を目指します。恵まれた自然環境を守り、全世代が支えあう対話と共創のまちづくりをみなさまとともに将来にわたって実現します。

●快適環境基盤の整備

菊川流域の強靱化、洪水・内水対策 東西南北をつなぐ幹線道路・生活道路の整備

●教育環境の充実

小中一貫教育の推進と地域が育てる学びの庭づくり

●医療・介護環境の充実

住み慣れた場所で、在宅医療・在宅介護ができる地域をつなぐ包括ケアシステム

●賑わいと活力を生み出す拠点づくり

菊川駅周辺の賑わいからはじまる新たな賑わい拠点づくり

●市民満足度の高い公共サービスの創出

行政と民間企業と市民のパートナーシップによる新たな公共サービス



上本所
竹内としゆき

昭和24年9月11日生まれ

「コロナ対策」生活重視 やさしい心のまちづくり

4年間の経験

実母の12年間の「在宅介護」

・いつ誰もが「介護される・する身」になるのかわかりません。

重度知的障害者、生活支援

・障害者支援施設「草笛の会、菊川寮」での利用者生活介助
・「障害」と言っても、一人ひとり個性を持っています。
・現場に真実あり

六郷地区センター事務長

・各自治会の課題を教えてくださいました。
・「生きがいづくり」には、趣味が必要です。

- ①「コロナ禍」の新たな「コミュニティづくり」
子どもの成長く高齢者生活に大事な
「近所」「コミュニティ」の再構築
「行政の下請けではない」自治会活動
- ②「高齢化・核家族化」への対応策
お一人・ご夫婦世帯への「見守り支援」
認知症の方への「地域ぐるみの対応」
孤立させない「在宅介護家族への応援策」
健康寿命延伸のための「生きがいづくり」
- ③「宝物の子どもたち」への支援
核家族化・共働き世帯の増加に対応した
「待機児童・潜在的待機児童」の解消
「コロナ対応での「学力格差防止」
- ④「お茶文化」の継承
学校給食(週4日米飯) 「お米にはお茶」
日本食文化継承で「消費拡大」を



無所属
にしざわかずひろ
西沢和弘

昭和31年12月8日生 64歳

原子力発電「トイレのないマンション」いらない。これ以上処理に1万年～10万年かかる使用済み核燃料を増やさない。

安心して住みやすい共生のまち菊川へ！

政策の姿勢

コロナ禍による

新たな生活様式と経済支援対策

- 新しい働き方改革の推進、経済支援、生活の支援
- デジタル化やIoTの推進

健全な行財政基盤の確立

- 最小の経費で、最大の市民サービスを実現
- 企業立地計画等、働く場所の確保による新たな歳入の創出

菊川型地域包括ケアシステムの構築

- 住み慣れた地域で自立できるサービス体制の推進
- 地域包括センターの機能の充実

浜岡原発は安全性の
確保を最優先

子育てしやすい環境と教育の充実

- 子育て支援、教育環境の整備充実
- 一人ひとりが学び生きる教育の推進

農業をはじめ各産業の活性化政策の充実

- 働く汗に報いる支援と、次世代が魅力を感じる産業基盤づくり
- 転換作物の導入や複合経営による儲かる農業の施策推進

災害に強い・環境にやさしいまちづくり

- 誰もが安心して快適に暮らせるまちづくり
- 実効性ある広域避難行動計画と地域避難行動計画の策定

- 再稼働ありきでなく、施設の安全性や自然災害対策と菊川市民の安全を第一に

「自助」「共助」「公助」 三助連携によるまち



無所属
松本まさゆき

昭和23年7月23日生

コロナ危機から 命とくらしを守る市政に

リニア新幹線は中止し
菊川市民の「命の水」を守る
浜岡原発再稼働許さず廃炉に
憲法9条を守り、市政に生かす

●補聴器購入助成制度を
●河川の氾濫・浸水対策
●18歳までの医療費は完全無料に
●3歳未満児の保育料無料化を

●コミュニティバス充実
●乗り合いタクシーや
●タクシー券の創設を
●31億円の
●菊川駅整備は
●見直し

菊川病院の統廃合許しません
わかりやすい相談窓口の開設

感染急拡大のもとで
十分な補償
PCR検査の抜本拡充
財政支援の強化を
国の支援強化を
政府に要請

「暮らしを支えること」です。
「暮らしと命を守れ、国の支援強化を」
みなさんと力合わせ全力を尽くします。



日本共産党

横山りょうすけ

1952(昭和27)年6月生れ・68歳
下内田12899の1 ☎(36)0033

菊川市の未来のための市政を 深めよう菊川のキズナ 高め合おう人育の町

ストップ荒廃農地は故郷の環境保全

激変する菊川の農業環境
農地あたりの担い手の数の減少に歯止めが
かからない。四季の移ろいを鮮やかに描き
出す農地を荒廃から守ることこそいま求め
られる環境保全です。

歪み無い均等な発展を

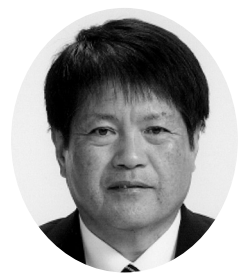
菊川市が歪み無い発展をするために
・何をすべきか？
・何処に予算を投入すべきか？
広く菊川を見渡し隅々まで熟知することで公
平な予算執行が可能になります。市政の菊川
市自体への勉強と精進が歪み無い発展を実現
します。

菊川に根付く教育の火を消すな

合併以前の小さな財政規模の頃から頑張って
教育に力を注いできた我が町。人を育てる大
切さを忘れなかった小さな町。今すべき事は
教育を支える先生方の環境を守る事。素晴ら
しい人材は良き教育環境から生まれるのです。

菊川茶の復権を

昭和から平成菊川の基幹産業として君臨し続
けた茶業。残念ながら飲料との多様化と生活
様式の変化から消費は激減し農家を支えた茶
単価は値下がりが続いています。既に単なる
茶業支援では支えきれない状況にきています。
市独自に多方面への市場調査と需要予測をふ
まえた茶業振興施策を打ち出さなくてはなり
ません。



わたなべ
渡辺おさむ

challenge the next stage!!
新しい時代への挑戦
今期の取り組むべき課題

プロフィール
平成17～28年 青少年健全育成委員
平成17、18年 菊川市 体育指導員
平成20年 菊川西中学校PTA会長(市P連 副会長)
平成27年 町部地区コミ協 会長
平成28年 「ふじのくに」 市民協働 事業、レビュー 県民評価者
【現在】 菊川市議会議員(平成29年1月初当選)
町部地区コミュニティ協議会 顧問
静岡県「ふじのくに」づくり サホーター
早稲田大学ローカルマニフェスト推進連盟 所属
祭囃子継承の会 風と花 会長



こばやし
小林ひろふみ

無所属

昭和三十九年六月九日生 五十六歳

コロナ禍からの復興
絶え間なき支援と安心して暮らせる環境整備

駅北整備構想の見える化
構想から計画そして具現化

運動公園のスポーツ&防災拠点整備
スポーツ施設の集約と防災機能の付加

皆様と対話する議会
議会改革を促進し議論の深まる場づくり

新しい時代 新しい菊川市

3「C」活動 Challenge 挑戦 Communication 交流 Compliance 規律



つばい
坪井なかじ

昭和30年生れ 65歳新人

内田から笑顔を届けます！

「約束します」

災害に強い地域づくり

災害から菊川市民の生命財産を守るべく施策の立案を行い、これを確実に実施して参ります。

新型コロナウイルスに適応した避難所運営等をしつかり考えて行きます。

福祉の充実

地域健康づくり活動の活性化により健康寿命を伸ばし介護予防の推進を図ります。

高齢者および要配慮者の皆様への新型コロナウイルス対応を確実に実施します。

男女共同参画の推進

男性の子育て・介護等への参画の実現を図ることにより、女性活躍を積極的に推進できる環境を構築して参ります。

農業振興

食と地域と地場産業を大切にす政策の実現に向け食料の安定供給、所得向上と後継者の育成、協同組合の発展を目指します。



無所属

なおひろ
鈴木直博

昭和二十三年三月一日日生 七十二歳

やりきります！

皆さまの声に耳をかたむけ

言っただけでなく行動！

◎安心・安全なまちづくり

- 災害に強いまち
- 子どもや高齢者が安心して通行できる歩道や横断歩道の整備
- 防犯施設（防犯灯や防犯カメラ等）の充実

◎教育・福祉の充実

- 一人ひとりの個性を伸ばす教育の推進
- 高齢者の生きがいづくり
- スポーツ振興による活気あるまちづくり

◎産業の振興

- 新規企業の積極的な誘致事業の推進
- 休耕田畑の有効活用によるまちの活性化
- 掛川―浜岡線の周辺地域のさらなる発展
- 輸出拡大で茶業の振興

須藤ゆき

元気に長生きするなら、菊川で！

- ・ 過疎地域への企業誘致を推進
- ・ 就農推進や茶業振興につながる企業誘致
- ・ 菊川氾濫対策の徹底
- ・ 堆積土砂の撤去や堤防事業の推進

大好きな菊川

を、

もつともつと **PR** します！

子育てするなら、菊川で！

- ・ 道徳心や日本の良さを学び、感謝あふれる教育へ
- ・ いじめは絶対ダメ！安心の学校環境づくり
- ・ 菊川の歴史や文化、伝統の継承
- ・ 子育てサポートの充実



プロフィール

須藤ゆき（すとうゆき）
平成4(1992)年11月28日、菊川市生まれ。
旧小笠町川上・川西地区在住。小笠東小学校、岳洋中学校、掛川西高校卒業後、鎌倉女子大学に進学。
HS政経塾6期生、幸福実現党 菊川市地区代表
○教員免許（小学校、中・高国語）○剣道初段 ○書道二段



菊川市議会議員候補

すとう
須藤ゆき

幸福実現党公認

みんなのひとみが輝くまちを目指して！

1. 公明党のネットワーク力を生かし、新型コロナから市民を守ります！
2. 防災・減災対策で安心安全なまちづくりに努めます！
3. 高齢者・障がい者が安心して暮らせるまちづくりを推進します！
4. 子育て支援の充実に努めます！
5. 子どもの健全育成と教育環境の整備を推進します！
6. 生活環境の充実で快適に暮らせるまちを目指します！
7. お茶の街・菊川の自然と環境を大切にするまちづくりを推進します！



織部ひとみ

ひとみが開く
菊川新時代！

公明党公認
64歳

プロフィール

昭和44年 町立菊川堀之内小学校卒業
 昭和47年 町立菊川中学校卒業
 昭和50年 常葉菊川高等学校卒業
 昭和52年 日本大学短期大学部卒業
 昭和53年 株式会社やまと入社
 昭和55年 不二測量株式会社入社

平成17年 大井川右岸土地改良区入社
 令和2年12月同退社、現在党小笠支部副支部長
 趣味：ラジオ鑑賞、音楽鑑賞
 座右の銘：一期一会
 尊敬する人物：ワンガリ・マータイ
 資格：二級土木施行管理技士

5つの菊川の姿

山本ひろしの望む

- ① 菊川からデフレ脱却
- ② 子供を地域で育てる菊川
- ③ 安心して免許返納出来る菊川
- ④ 喜業家を応援する菊川
- ⑤ 災害に強くなる菊川

PROFILE

山本ひろしプロフィール

1985年3月31日生まれ。現在35歳、菊川市青葉台で両親のもと育つ。菊川町立六郷小卒、菊川市立菊川東中卒、静岡県立掛川東高卒。2007年 静岡英和学院大学人間社会学部人間社会学科卒。2007年 株式会社スーパーラック就職。2010年 株式会社正悦で2年半、飲食業について学ぶ。2012年 本通り2丁目に「畑 bar うちうち」OPEN。現在、営業中。2016年 小中学校で仕事の面白さ、大切さを伝える未来授業活動を開始。現在、継続中。2020年 菊川市食品衛生協会 会計就任

さらなる前進！

豊かな菊川！！



山本ひろし

昭和60年3月31日生まれ
35歳

地域とのかけ橋、だれもが住みたい菊川市

- ① 市民と行政の
パイプ役
 - ② 子どもを社会で
守る地域づくり
 - ③ 高齢者が住みやすい
地域づくり
 - ④ 災害に強い
地域づくり
 - ⑤ 農業政策推進
 - ⑥ 安全・安心な
地域づくりの推進
 - ⑦ 菊川駅北開発
- 頑張ります！！



ひがし和子

昭和三十一年四月二十七日生
六十四歳



内田 たかし

市民が納得信頼協力し合えてこそ、

「住んで良かった

住みたくなるまち菊川」

に、なると信じます。

その為に、次の事に全力を尽くします

- 茶業 …… 具体的課題の研究が出来展望の見える
検討組織の確立
- 健康 …… 健康長寿日本一を目指し、スポーツ、
生きがい、コミュニティー等を組み合わせ
菊川型健康体制の確立
- 土地利用 …… 各種規制のある土地について、菊川市に
合った土地利用への働きかけ
- 議会改革 …… 市民の皆様へ期待、納得される議会への
取り組み
- 行財政 …… 将来に不安を残さないための財政計画
確立への働きかけ
- 浜岡原発 …… 市議会が出した意見書の堅持
- 緑化 …… 緑を活したまちづくり計画の推進



無所属

おりべ光男
みつお

1949年2月3日生まれ

市民とともに歩みます

私の政治目標

- 教育** 教師の超過勤務を軽減させ、教師と生徒が
ちゃんと向き合え、信頼関係をもてる教育
環境を作ります。子育て世代の意見を聞く
取り組みをします。
 - 福祉** 健康寿命を延ばす活動に補助金制度の導入
をする。高齢者の交通安全政策を確立。
 - 保育** 一時保育制度の利用者の満足度100%を
達成するために働きます。
 - 提案** 箱物行政から脱却し、市民の幸福度が向上
する行政にします。
 - 監視** 菊川駅北に自動改札口の設置を推進。
 - 財政** 二元代表制を駆使して、税金のムダ使いを
なくし、健全財政になるよう努力します。
 - 原発** 菊川の予算・決算の内容を市民のみなさま
に分かりやすく、正しく説明します。
 - 強化** 浜岡原発の再稼働には反対、廃炉を要求し
ます。クリーンエネルギーの推進。
 - 憲法** 災害に備えて「防災士」の資格保持者の増
加に努めます。
 - 性暴力** 憲法9条改憲に反対。戦争の反省のもとで
作られたことを忘れてはならない。
- 正しい性教育で、人権と尊厳教育の徹底を。
被害者が泣き寝入りしない世の中にします。
- 私はこんな議員になります。**

みんなとまちと世代をつなぐ

みんな
まちづくり

必要な場所への女性の参加

全てはここに
減災・防災!

日常の中の防災訓練

命を守る!一人一人がそのときどうすべきか
決めておく。発災時は近所で助け合い
地域で防災協定

SNSあらゆる方法で情報伝達

3期だから生かせる経験と人脈!
情報収集力と提案力
すべての人が生きやすいまちを目指します!

菊川のこどもを
育てる

学校・家庭・地域
必要な場所への男性の参加

健康づくり

地元の安全な食と
運動、口腔ケアで
0歳から高齢者まで

《ワークライフバランス》働く世代をサポート

倉部みつよ
議員
スタイル

市民主義
主役の市民を
サポート

ボランティアだけではない市民協働
公園整備・公共施設の活用推進
→賑わい・居場所づくり
自治会・協議会地域活動の見直し

議員議会

行政改革事業見直し・財政チェック
情報公開推進 共創・広域連携推進
市民参加のしやすい議会
計画性のある議会運営



調べ学び働く

倉部みつよ

五丁目下 58歳



よこやま
横山ようじ

昭和25年9月生まれ70才

わが愛する郷土 そして菊川市のために

◆浜岡原発の再稼働はできない

平成27年、市議会で中部電力に対し浜岡原発の再稼働に必要な3つの条件が決議されました。その一つが「放射性廃棄物の最終処分場」です。建設の見通しがなく、敷地内の廃棄物を増やすこととなる再稼働はできません。

☆内田からの再稼働賛成は阻止します

中部電力は10年後には主力の石炭火力を止めなければならぬため、なにがなんでも原発を再稼働したいようです。内田から再稼働に賛成する手をあげることは、断固阻止します。

☆原発がないと本当に電力が不足しますか？

今後10年間で電気・電力の技術は、劇的に変わります。電気自動車、高効率太陽電池・家庭用蓄電池・送配電網など温暖化を抑制するための技術革新の競争です。10年後、石炭火力が止まっても大丈夫だと思えます。危機に立ち向かう人類の英知と科学技術力を信じます。

◆頻発する豪雨から愛する郷土を守る

安全の一丁目一番地は、「菊川が一級河川であり続ける」こと。国・県の協力を得て、菊川水系の防災力を強めます。

◆農業経営振興のために

いまのままでは、茶業をはじめ菊川の農家がピンチです。苦境にたつ農業者の声を行政に届け、英知を集めて行政と一緒に対策を講じます。



無所属
はやみまさひろ

昭和27年6月21日生(68歳)

より住みやすい菊川市を、今日から、未来へ！

私は菊川市に、人生の半分以上の35年住んでいます。親が転勤族であったため、北は盛岡から南は宮崎まで、小学校4つ、中学2つ。そんな私の人生の中で、菊川市は非常に住みやすいところであり、これからは菊川市に住み続けたいと思っています。だからこそ、私はこの菊川市をより住みやすい街にしたいと考え、市議会議員に立候補しました。

例えば、高齢の方が移動しようにしても、移動手段としてのコミュニティバスは1日に数本と、あてにはできません。また、このような現状では、免許証の返納にも躊躇せざるを得ません。30分に1本、せめて1時間に1本の運行が必要と思われませんが、そんなことをすれば大赤字だと言います。しかし、公共交通は、たとえ赤字であっても、健康、福祉、暮らし、生きがいなど、総合的に考える必要があります。

他にも、コロナに対応し、万が一の医療崩壊に備えて、検査、感染者の隔離、重症患者の入院治療が行える新型感染症専門施設を、小菊荘や市内ホテルを利用して設置したり、交通信号の系統化を図り、右折帯や右折矢印を設置することで交通の流れをよくしたり、文化、スポーツを振興することにより、喜びにあふれ、夢あふれる街づくりをするなど、すぐに行えることから、将来に向けて進めていく課題まで、県職員として40年勤めてきた経験とパイプを活かし、また、植物、農業、バイオテクノロジーの技術者の端くれとしての知識と経験を活かし、様々な問題に取り組んでいきたいと考えていますので、皆様の応援をよろしく願います。

プロフィール

昭和52年3月
静岡大学農学部園芸学科卒業

昭和52年度 静岡県職員
東部・志太榛原・中遠・西部
各農林事務所 通算17年
農林大学校 通算11年
農業試験場 通算9年
県庁農業技術課 3年

平成30年3月退職

- 準国際学会国際植物増殖者会議 日本支部 副会長・理事
- 元青葉台二丁目自治会長(H28)
- 多くのミュージカル、国文祭の『チェンジ』や劇『侍たちの茶摘み唄(中条景昭役)』に出演
- 弓道四段 ●花づくりアドバイザー

25歳 これからの若い力に あなたの1票を!

プロフィール 中央幼稚園、河城小学校、附属島田中学校、掛川西高校(理数)、東京都市大学(旧武蔵工業大学)卒業 スズキ株式会社入社



無所属 菊川市半済(虹の丘)
元スズキ株式会社
渥美よしき

ふるさと菊川の生活を守り
より豊かに!

渥美よしき政治への道

大学時代に4年間、国会議員秘書のインターン(職業体験)を続けました。その経験から、政治の重要性に気づき、少子高齢化に強い危機感を懐きました。コロナ被害をきっかけに「菊川のことは他人任せではなく、私たち自身で守らなければ!」と思に至り、スズキ株式会社を退職。

そしてこの度「①高齢化に適応した」「②誰も置き去りにしない」「③子育てを軸としたまちづくりを実現するため、立候補を決意しました。

住民の声 コミュニティバスについて

「時間が合わない」「利用に不便」
「空席が多くもったいない」

老後も安心! 子供も便利!
新しい公共交通の実現を!

予約型バスの導入 ※定時バスは通学時間帯に特化

- 家までお迎え(電話予約)
- 乗車率向上で収支改善
- 通院・買物などに適した運行
- 空白地域なし

その他の政策はホームページでもご覧いただけます

令和3年
1月24日執行

菊川市議会議員選挙公報

菊川市選挙管理委員会



山下おさむ

「持続可能な菊川市に向けて」

菊川市は抜群な自然環境や地理的条件の中にあります。農業・工業・商業が調和した田園都市を目指すことが重要な方向性と考えます。

また、地球温暖化による豪雨災害の多発と浸水被害、東海地震への懸念、少子高齢化など多くの課題に直面しています。

■災害に強いまちづくり

住宅や老朽溜池の耐震化、公共施設の老朽化対策、河川改修と内水面の氾濫対策の推進

■少子高齢化への対応

行政の力だけでは対応できません。市民皆さんによる自助・互助・共助と公助の連携を推進

■地域の活性化

工場誘致や農業環境の整備、中小企業に対する支援施策で雇用の確保

■デジタル技術を活用した行政運営

行政現場での有効活用と、子どもたちのスキル向上を目指した義務教育での活用促進

■環境対策への取り組み

浜岡原発は、安全性が担保されない限り再稼働は認める考えはありません。

未来に残すべき豊かな自然環境は、森林や農地の適切な管理や排水の浄化施策、廃棄物のリサイクル活動、再生可能エネルギー利用が重要と考え推進します。

「住んでよかった、住みつづけたい菊川市」が持続可能なまちとなるように努力します。

投票日 1月24日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

皆さんが安心して投票できるよう、投票所では出入口に手指消毒液、受付に飛沫防止用パーテーションを設置するなどの感染症対策を実施します。投票所を訪れる際には、次のような対策への協力をお願いします。

<皆さんにお願いする対策>

大事な投票、忘れずに!



- 投票所入場・退場時に手指消毒をお願いします。
- 会場内ではマスク着用をお願いします。
- 専用鉛筆を使用し、使用後は返却をお願いします。
- 周囲との距離を保つため、外で待っていただく場合がありますので、温かい服装でお越しください。
- 地区センターなどのスリッパは不特定多数の人が使うので、必要な人はご持参ください。
- 投票日当日の混雑を避けるため、期日前投票の活用をお願いします。

※ 市ホームページ(右記)に昨年の選挙投票時の混雑状況を掲載しているので、ご覧ください。

